

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年11月25日

計画の名称	高石市公共下水道整備計画（その２）（防災・安全）													
計画の期間	令和０２年度　～　令和０４年度（３年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	高石市													
計画の目標	公共下水道施設の老朽化に伴い、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため、限られた財源の中で、下水道ストックマネジメント計画に基づきライフサイクルコスト最小化の観点を踏まえた下水道施設の計画的な長寿命化対策を推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		1,044	Ａ	1,044	Ｂ	0	Ｃ	0	Ｄ	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R3末	R4末
1	羽衣ポンプ場における改築・更新したポンプ施設の割合を0%（R2当初）から100%（R4）に向上させる。			
	羽衣ポンプ場における改築・更新したポンプ施設の割合 羽衣ポンプ場改築更新実施済み施設 / 羽衣ポンプ場改築更新を実施すべき施設（沈砂池設備 一式）	0%	0%	100%
2	改築・更新した管路施設の割合を0%（R2当初）から100%（R4）に向上させる。			
	改築・更新した管路施設の割合 （管路改築更新実施済み延長（km） / 管路改築更新を実施すべき延長（0.4km）＋マンホール蓋取り替え実施済み箇所（個） / マンホール蓋取り替え実施すべき箇所（250個）） / 2	0%	65%	100%
3	高石ポンプ場、高師浜ポンプ場における改築・更新実施設計したポンプ施設の割合を0%（R2当初）から100%（R4）に向上させる。			
	高石ポンプ場、高師浜ポンプ場における改築・更新実施設計したポンプ施設の割合 改築更新実施設計済み施設 / 改築更新実施設計すべき施設（ポンプ場 一式）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高石市	直接	高石市	ポンプ 場	改築	羽衣ポンプ場 改築更新 実施	実施設計、改築更新	高石市	■	■	■			988	-	策定済
		下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-002	下水道	一般	高石市	直接	高石市	管渠（ 合流）	改築	管路改築更新実施	実施設計、管更生・蓋取り替 え	高石市	■	■	■			21	-	策定済
		下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	高石市	直接	高石市	-	-	雨水貯留タンク設置促進 事業	雨水貯留タンク設置・助成	高石市	■	■	■			1	-	策定済
		新世代下水道支援事業制度水環境創造事業水循環再生型																	
	A07-004	下水道	一般	高石市	直接	高石市	管渠（ 汚水）	改築	管路耐震化対策事業	管路耐震診断調査	高石市			■			8	-	-
	A07-005	下水道	一般	高石市	直接	高石市	ポンプ 場	改築	高石ポンプ場他 1 箇所改 築更新実施	実施設計	高石市		■	■			26		策定済
											小計						1,044		
										合計						1,044			

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

高石市にて実施

事後評価の実施時期

令和6年度

公表の方法

高石市のホームページにて公開

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

羽衣ポンプ場の改築更新により安定的な水処理、ライフサイクルコストの最小化及び事故の未然防止につながった。
管路の計画的な改築更新により耐用年数の延伸、事故の未然防止やライフサイクルコストの最小化につながった。
高石ポンプ場の改築更新に伴う実施設計を行い、計画的に事業をすすめることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

・令和2年度から4年度までに10基、容量計1490リットルの雨水貯留タンクに対して助成を行ったことで、雨水の流出を抑制し良好な水循環の保全、構築に寄与した。

○ 特記事項（今後の方針等）

今後はストックマネジメント計画に基づき、管路や施設の計画的な改築更新を推進し、限られた財源の中でライフサイクルコスト最小化の観点も踏まえ、日常生活や社会活動に影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防いでいく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2			
	最 終 目標値	100%	下水道事業費の増加に伴いマンホール蓋の取り替えを先送りしたため。
	最 終 実績値	77%	
3			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	